

世界史 B

1 目標・使用教科書等

学習の到達目標	1. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の位置づけに着目させながら把握させる。 2. 古代から近代にかけての学習のなかで、現代社会が直面している課題に関連づけて考察させ、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 3. 他地域の歴史を理解することによって、日本の歴史・文化を客観的に見る目を養う。
使用教科書・副教材等	『詳説世界史 B』 山川出版社 『ニューステージ世界史詳覧』 浜島書店 『世界史用語集』 山川出版社 『世界史 B マスター問題集』 山川出版社

2 学習指導計画

学習内容 (教科書の単元)		学習のねらい
4月	序章 先史の世界	人類が農耕を基礎に文明を成立させたことを理解する
5月 6月	第1章 オリエンと地中海世界 1 古代オリエンと世界 2 ギリシア世界 3 ローマ世界	<ul style="list-style-type: none"> オリエンと文明とギリシア人の活動を中心に西アジア、地中海世界の特質を把握する ローマ帝国により地中海世界が形成されたことを理解する 西アジア、地中海の歴史を一体的に捉え文化の広まりを捉える
7月 8月	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	<ul style="list-style-type: none"> 南アジア世界の形成過程を把握する 東南アジアが、南アジア文明や中華文明の影響を受けながら国家を誕生させたことを理解する
9月	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成と発展 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> 遊牧民とオアシス民の特質と、歴史に果たした役割を理解する 東アジア・内陸アジア世界の形成過程を中華文明と遊牧国家の動向を中心に理解する 東アジア世界の形成を我が国の歴史と関連づけて把握する
	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド、東南アジア、アフリカのイスラーム化	<ul style="list-style-type: none"> イスラーム世界がユーラシアの交易ネットワークに沿って拡大した過程を把握する イスラーム文明が古代ギリシアの学問を保存、研究していたことや、当時の世界の最先端の文明であったことを理解する
10月 11月	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパ中世文化	<ul style="list-style-type: none"> 地中海世界が解体し、ヨーロッパ世界が形成されていった過程を理解する 東ヨーロッパ世界と西ヨーロッパ世界の特質を理解し、その歴史的背景を把握する ヨーロッパ諸国の対立や混乱について、キリスト教や教皇権を理解したうえで考察する
12月	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域自立化 3 モンゴル民族の発展	<ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア諸民族の活動が、ユーラシア諸地域世界の交流と再編に果たした役割を理解する 遊牧騎馬民族の台頭について段階をふんで把握する モンゴル帝国と周辺諸国、ヨーロッパ諸国、イスラーム世界との関わりを捉える
1月 2月 3月	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	<ul style="list-style-type: none"> 16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域世界で社会の成熟期を迎えたことを理解する この時期の日本の動向が、東アジア世界の中でどのように位置づけられかを考察する イスラーム帝国では非ムスリムに対して寛容な統治を行ったことや、交易によりイスラームが広まる様子について理解する

3 評価方法

定期考査 提出課題及び提出状況